

の余裕がなかったのか何かで行けないって言ってたんですけど、何か1カ月ぐらいしてから行くようになった。…最初のうちは朝ご飯からお弁当作りから全部（私が）やってたんですよ…。…だから結構、朝はすごい忙しかったんですよね。…保育所に連れて行かなくなってからも、朝それ（朝食の準備とお弁当作り）やってただけど、お弁当作りは去年の暮れか11月か12月ぐらいから夫がやるようになって、朝ご飯も、まあパンだけなんですけど、それもやるようになったのかな、あのころから。だから、朝の仕事がなくなってとても楽になった。…多分いろんな全体の家事を考えるとわたしの方がやってると思うんですけど、そういう朝のわーっという忙しい中のやる事が減ったので…（夫がそうした家事を分担するようになったことに）何かきっかけがあったのかどうかは分からないんですけど、わたしの方から何か言ったとか働き掛けたことは全くないと思いますね。<1>

けちを付けられたのか、おれが少しでも軽くしてあげようと思ったのか、ちょっとその辺はよく覚えていないんですけど、…朝保育所に連れて行ったら、楽だろうと。何かやっつけば多少文句を言われても、おれもやっているって言えるのもあるし…しかも、ぼくが朝行くと、彼女が夕方行かれる。実はですね、ぼくの方が職場が遠いので、ぼくの方が朝早いです。彼女の方が朝遅いです。…何をしようかなと考えたときに、できることを取りあえずしておけばいいってなって、だから夕方は無理だから、じゃあ朝行きなすと。

…夜もぼくの方が遅い。基本的に彼女は残業がない。で、ぼくは自由裁量とはいえなくちゃ間に合わないという。朝（の保育所への送り）も時間的なことを言うと彼女なんですけど、とはいっても（彼女だけに負担をかけるのはいけないから送りはする）。…だから何かあったときには、ぼくは午前中休んで午後は会社に行かせてもらう…これも勝手なぼくのあれですけど、ぼくが午前中休むから、午後はよろしくねと。で、ぼくが午後から会社に出て行く。

…（家事や育児の分担については）話し合っていないですね。…なんて言ったらいいだろう、一応こうやって3人で生きてるわけですから、1人でこうやってぼっっとしてると居心地悪いしね…それで何をしようかなと考えたときに、できることを取りあえずしておけばいいってなって。<2>

子どもが2人いる家庭では、1人ずつ送迎するようになったケースもある。

（妻が復職して）1カ月もしないうちですかね。たしか「朝2人を置いてけない」って、彼女のほうが。…（そのころ）電車通勤から車に変えたんですよ、私。…で、車通勤するんだったら、5分で保育所行けるんですよ。…「じゃあ、上の子どもは（車でつれていく）よ」って話で、それからですね。<11>

このように、ほとんどの場合、復帰後の家事・育児の再配分については、事前に夫婦間で話し合いがあって計画がたてられるわけではない。むしろ試行錯誤的にやってみて、生活パターンができてくるのにもなって定着していくものである。定着していく過程におい

ても、夫婦は必ずしも明確に話し合いをおこなうわけではない。むしろ、暗黙のうちに互いの仕事状況を勘案しつつ、アンバランスにならないように家事・育児の分担の再調整を徐々におこなっていくのである。

#### 4.14. 復帰後に利用している育児資源

##### 公的育児サービス：保育所、ベビーシッターなど

両親が働いている間の子どもの保育の担い手には、保育所、(子どもからみた) 祖父母、ベビーシッターなどがある。育児休業中は保育所に入れるかという不安を持つ人が多かったが、実際には、希望したすべてのケースで、保育所を利用できていた。ただし、(1) 保育所に入所させるために復職の時期を調整したり、(2) 優先度による選考がおこなわれるため必ずしも希望する保育所に入所できるかわからない認可保育所ではなく、先着順で入所を確定できる認証保育所<sup>9</sup>に子どもを預けることにしたり、(3) 自宅や最寄り駅周辺では保育所が見つからず、電車に乗って保育所に子どもを通わせていたりするケースもあり、問題がないとはいえない。

本研究の調査対象者の子どもの場合、1組の夫婦の子どもたちが祖父母宅とその近くの保育所に預けられていたり、別の1組の夫婦の子どもたちが保育所や幼稚園とベビーシッターを組み合わせた保育を受けていたり、さらに別の1組の子どもが幼稚園と保育所の二重保育を受けていたりしているが、ほとんどの子どもは自宅か最寄り駅近くの保育所に預けられている。

多くの場合、保育所は親の仕事と家庭の両立にサポータティブで、子どもをよく見てくれると感じられており、評価は概して高い。

(保育所は) きちんとしていると思う。不満はあんまりない…まず、報告してくれる。だから、子どもがかまれたりしたら、「〇〇君、かまれました」とか。それで原因はおもちゃの取り合いですみたいな。幸いうちの子はまだかんでないみたいなんだけど、やっぱり2~3回かまれたかな。結構指とかかまれてるらしいんで。それで、「本当に申し訳ありませんでした」って言うのよ。…あとは扉にちょっと指を挟みましたっていうのも、きちんとしてくれるから。きょう何で泣いたとか、そういうのもちゃんと教えてくれるから。…保育士さんは大体3人に1人以上ついているっていう感じだから、だから十分過ぎるぐらい。…(子どもを送っていくと) まず「きょう、変わりありませんか」って言って、「きのう、ちょっと夜寝るのが遅かった」とか、あとは何かでごねたとか。「もしかしたら、きょうはこうなるかもしれません」とか、そういうやりとりが20~30秒だけど、そういうので。あとは連絡帳っていうのがあって、こういうことがありましたとか <5>

保育所に預けてみて、仕事に対するスタンスや子どもに対しての親としての感じ方に変化

<sup>9</sup> 地域によって、「認証保育所」、「〇〇保育室」など、名称が異なるが、ここでは「認証保育所」に統一する。

があったという発言もある。

(今は) なるべく (ずっと) 働きたいですね。やっぱり保育園に子どもを預けてみたら、もちろん子どもはかわいいし一緒にいたいんだけど、ずーっと一緒にいるのが何か健全じゃないような気がして (笑)。何ていうの、健全じゃないっていう言い方はおかしいですね。何ていうか離れての方がすごくかわいくとおしく感じるような気持ちになったってことかな…ずーっと一緒にいると、何かこういらいらしてくることもやっぱりあるじゃないですか。その煮詰まる感じがやっぱり少なくなったので、その方がいいかなというふうに思うようになりましたね。<1>

自分が働くことによって、自分らしくいられるし、子どもたちにもほんの短い時間で接しているほうが、わたしも…ニコニコして接していただけるなあと…「今日は何したの?」とか、「何ちゃんと遊んだ。これした」とかというのが、わたしができるたった一つのコミュニケーションの取り方。…1日中子どもと一緒にいるのがいいと思う人もいるから、働かない人もいらっしやると思うけど、わたしは逆にそれができないから、短い時間でムギユ。まず迎えに行ったら、ムギユとしてあげるというのが、わたしもコミュニケーションの取り方、愛情の示し方だと思っている。<19>

ただし、保育所に子どもを預けることに不安を感じているケースもある。

(保育所に子どもを預ける上で注意すべき点の) 一つは、保育所で子どもがちゃんと育っているか、メンタルにもフィジカルにも。で、お互いが接している時間が相対的に短いのが、どのくらいよく働くか、悪くなるかというのは見ておかないといけませんよ。まあ、でも、気を付けて見ているという以外には、手はないので。それは、まあ、どっかの時点で「おお、やっぱ駄目だから、変えよう」と言ってるかもしれないですけど、今んとこは何かこのまんま行けそうだねと思っています。<4>

認可保育所の場合、看護婦が常駐していること、育児についてベテランの職員からきめ細かいサポートをしてもらえることなどに高い満足を持つ人もいます。

(今は) 熱が出やすい人だっというふうに保育園の方でも思ってくれてて、7度5分ぐらいだったら見ててくれるっていう感じ。8度以上にならないと、「すぐ来てください」っていう感じではなくなってたんですね。…検査を勧められて…特に何も問題がなかったんで、それ以来多少の熱でも電話は来なくなりましたね。8度以上にならないと。<1>

保育園さんって看護婦さんもいらっしやいますよね。いるので、…この子は (夕方近くになると微熱が出る) 子だというふうになると…今は、7度後半あっても呼ばれない。<2>

(子どもが病気になったときも) 休むとかじゃなくて、ちょっと早く帰りますぐらいで。

…近くなっただってこともありますし、やっぱりそういうところは認可の強みですね。やっぱり保健室、看護師さんがいるんで。時々あるのは、夕方5時半ぐらいに電話があって、5時半より6時前ぐらいに。まあ、「一応熱高いんで、一応連絡しときますね」って形…要は、なるべく早く帰ってこいと。…「取りあえず機嫌はいいので、このまま置いときますけども」って、「もうこの時間だし」って。<11>

しかし、一方で、認可保育所については、共働きというライフスタイルを選択した親に対するサポート不足や保育時間・期間の硬直性が問題点として指摘されている。

保育所って…働く人の味方って…わけじゃなくって、福祉の考え方があるんでしたっけ？（保護者のかわりに）子どもを預かるっていう。僕は、月曜休みなんですけど、月曜はもう絶対預からないって。風邪でちょっと病院に行きたいから「1～2時間預かってくれ」って言ったときも、預かってはくれたんですけど、「急に来られちゃうと困る」って言われちゃいましたし。…何かちょっと厳しい。あんまり預からないというか、まあ、お母さんとお父さんがいる日は一緒にいてね。まあ、それはそうだと思うんですけど。 <14>

（一人目の子どもの育児休業からの復職時には、午後から5時間の短時間勤務で働いていたが、公立の保育所には）12時に来られたら困るって言われたんです。うちに入るんだったら9時までに来てくれと言われたので、最初から選択肢から外れちゃいましたね。 <17>

一方、認証保育所については、サービス面での満足度は高い。しかし、保育料金が高く、利用できる層が限られるという指摘もある。また、認可保育所に比べて設置基準がゆるやかである分、預ける側が信頼できる預け先であるかどうかを見極めなくてはならない。

（認証保育所は）はっきり言ってサービス業なんで、まあ、いろいろお金で解決してくれるところが多いんですよね。認可保育園だと、「あれ作ってください。これ作ってください」って手作りものも多いと周りから聞いていましたし…結局、自分が面倒くさくなってしまって。（認証保育所だ）と、用意するものもほとんどない。もうほとんど要らないんですよね。確かに認可に比べれば割高には…、ですけども、まあ、わたしたちの収入を考えた場合、認可保育園って収入で決まりますから、さほど差は出ないだろうという…。で、楽ができるんだっただっていうの。あと、時間も夜9時までです。お夕飯も、仕事の都合で夕食、夜も給食を付けられるとか、そういうサービスが非常に充実していますよね、やっぱり。なので、いろいろ縛られる認可よりは、このまま（認証保育所に通わせる）。 <19>

（認証保育所の問題点は）料金設定ですよ。…専業主婦しているお友達なんかだと、やっぱり「認証保育所は高いよね」って、皆さん言いますしね。まあ、子どもの幼稚園のお友達も、「認証保育所って1回いくら？」って言って、「ピジターだと、3歳だ

と1,500円かな」って言うと、自分がそれ以上の時給で働かなければ意味がないじゃないですか。それで二の足踏んでいるお友達結構いますよね、働きたいんだけど。…その幼稚園は延長があるからって選んだ人も多みたいなんですけど…資格持っているお母さん多くて…看護師とか、助産師とか。それで、「チャンスがあれば戻りたい」って言っている人、結構いるんですよ。…でも、下がまだちっちゃいからとか、預けるところがないとか。病気になったときのケアがとか。そこなんですよ。ネックは。<19>

(保育所を探したとき) 無認可の方がやっぱり対応が細かいからいいなと思って(候補にしていたところがあった)。でも、(そこでアルバイトをした経験のある知人から) すごい子どもたちの扱いが良くない、絶対預けない方がいいよって言われて。下手すると足で蹴ってるときがあるって言うんですよ。お母さんが恋しくて泣いているのに、うるさいって言われてトイレに閉じ込めて電気消しちゃったりとか。そんな話を聞いてやっぱりちょっと怖いと思って。(見学に) 行くと、その園長先生はすごくいい顔するんですね。…そういうのって、もっとチェックする機能とか相談窓口みたいなものがあつたらいいなと思いますね。…そういうところは改善とか注意とかを受けるような制度がないのになって。やっぱり保育園はよっぽどじゃないと預けられないかなと思いましたね。預けている人は気付いていないんですよ。だから本当に信頼できるところがなかったら、やっぱり辞めるしかない。だから辞めることというのは常に裏表で考えています。<17>

子どもが大きくなると、ベビーシッターの利用もみられる。この場合、自宅で子どもが1対1のサービスを受けることになるので、信頼・信用できるベビーシッターが派遣されるかということ、経済的な補助制度が大きいと感じられているようである。

(会社の本部がある国では) 保育ママさんみたいなのが多いんですって。どこかの家庭に連れて行って、その人が3人ぐらい子どもを見ているという感じで。当然資格がなくてはいけなくて、国の方からの不意打ちの検査が定期的にあるんですって。そういうのがあるとやっぱり安心できるかなと。<17>

(上の子どもについて) シッターさんは4歳の年中さんのときから夕方2時間ちょっとぐらいですけども、シッターさんと一緒にここで過ごすというので。彼も自分のおもちゃで自分の家で遊ぶのがやっぱり好きだったみたいなので、遊んでもらって。ただ、それも良しあしで、シッターさんはやっぱり子どもがお客様になってしまうので、甘いんですよ…補助券が1日1,500円出てるんですよ、厚生労働省からの補助じゃないかなと思うんですけど。それと最近…(会社の) 福利厚生クラブみたいなので1時間当たり300円の補助が出るんですよ。だからたくさんお願いすると、50時間超えると1割引になるので、そうすると1時間当たり1,050円になるんですね。…5時間ぐらいお願いしても5,000円で、そのチケットも併用できるので1,500円引かれるじゃないですか。だから高いけど、そんなに目が飛び出るほどには高くないという感じで。<17>

前は (利用している認証保育所で) 訪問保育ってやってきていたんですよ。今ほど規模が大きくなかったときは。なので…(子どもが病気になったときに) もうやむを得ずスタッフの方に訪問で来てもらったことが何度かあります。やっぱり1週間とか休まれると、わたしたちは両親近いですけども (それでも厳しい)。…まあ、1日は大変なので、午前中だけ保育所さんでシッターで来てもらって、パトタッチして、午後はおばあちゃんとかですね。あと、わたしたちが午前午後どちらか半休取って、残りはシッターさんとかっていうのは、一人目はやっていますね。  
…ベビーシッターも…もうちょっと使いやすくというか…まあ、料金的なことですね。それに対する補助ですとかね。…補助…少ないですよ。 <19>

ただし、ベビーシッターの利用については、つぎのように抵抗もある。

私は、割とベビーシッターさんをと、危なそうなときはベビーシッターさんと思うんだけど、彼は何かちょっとベビーシッターさんというのに抵抗がややあるらしくて、何かこう。…何か、家の中にまず入ってまで大丈夫かということと、あと子どもがちょっとかわいそうかなみたいなのがあって、それよりは自分の親のほうがいいんじゃないのっていう感じで。だから、私が「ベビーシッターさんを頼んでみる」って言っても、「ちょっと母親に聞いてみるから、待って」みたいな感じ。…いくつか保険掛けとかないと、一つだけにしとくと、窓口を、結構不安なのでと思うんですけどね。 <7>

(病気のときだけベビーシッターに来てもらうというのは) 子どもの性格的に駄目なんじゃないかと思っていましたよ。だから、普段預けている保育所で顔見知りの、普段ルームで保育に出ているスタッフの方を派遣してくれるという (のがいい)。そこもある意味 (認証保育所ならでは) サービスですよ。そういうのも大きいんですよ。そのときだけポンと、見ず知らずの人だと、やっぱり子ども引くじゃないですか。わたしたちもやっぱり見ず知らずの他人に家を預けるというのは…いろいろな面で不安はありますし。 <19>

#### 私的サービス：親族の援助

本研究においては、親族が平日の日中のおもな育児の担い手となっているのは、夫婦⑤のみであった。夫婦⑤には子どもが2人いるが、下の子どもは <9> の母 (子どもからみると祖母)、上の子どもはその家の近くの保育所に預けられており、<9> の母が重要な育児支援をおこなっている。

親族が平日の日中のおもな育児の担い手となるケースは1例のみであったが、母 (子どもからみると祖母) や親族から定期的に援助を得ているケースは多い。

ぎりぎりになって、ばたばたと仕事に来ちゃったりとかすることがやっぱりあるので、そのときは困りますね。そのときは、今うちの近所にわたしの妹が住んでるんですよ。で、彼女も事務職だから割と定時で帰れるんですね。だから妹に迎えを頼んで行って

もらったりということもあります…突然そうになってしまって、で、「こういう人が行きます」と説明だけして…で、もう 1 回行ってしまったので、保育園側ももう顔を覚えてくれて、「叔母が行きます」って言うだけでその後はもう大丈夫になってるんですけど。だから、結構妹に頼んでることがありますね。…「早く帰れるから行ってあげようか」って言うってくれるときもあるので…それは助かってます。月に 1 回とか 2 回ぐらい。<1>

週に 2 回（水・金）義理の母が来てくれて…（義母も）仕事してるから、3 時に終わるのね。3 時に終わって食材買って、あるいは自分ちで食材作ってきたやつを持ってきて、それでわたしが帰ってくるころにはご飯ができてるって感じ。…（子どもの）お迎えもしてくれて。…それがゼロになったら結構きついな。<5>

また、後述するように、会社の制度や国・自治体による看護サービスが不十分な現状では、子どもが病気になったときには、親族の援助がなくては難しいというのが実態である。

#### 4.15. 仕事と育児を両立する日常生活の実際

さまざまな工夫によって家事の量を圧縮しても、小さな子どもがいれば、日々、膨大な量の家事が発生する。このような家事は、夫婦の間でどのように処理されているだろうか。

##### 毎日の忙しさ

共働き夫婦は、日中、職場で仕事をするだけでなく、出勤前と帰宅後、つまり、家にいるときには、限られた時間の中で家事や育児を遂行しなくてはならない。日常生活に忙しさを感じているケースも多い。

忙しいのは、やっぱり朝と帰ってきたときですかね。…家にいる時間はいつも忙しいって感じで。<13>

まず朝の忙しさを具体的にみてみよう。

起きるのが遅いっていうのが問題なんですけど、8 時に起きて、8 時 45 分には子どもを出すので、時間がないからそこが一番忙しく感じる場所ですね。<1>

朝の瞬間とかは信じられないぐらい忙しさを感じます…起こすっていうのがですね、子どもを。最近何か朝すごく機嫌が悪いんですけど、「おれが 15 分早く起きればよかったよ」って思うぐらい、やっぱり倍以上の時間がかかりますよね…保育園に連れていくまでがすごく忙しいな、慌ただしいなと思います。<2>

一日中忙しいっていう感じ。だから朝の上の子の着替えはパパがやるっていうはずだったのに、2 人の着替えの係にいつの間になっちゃって。それは起こすけれども、要はほとんど寝てるわけよ。それを人形を着替えさせるように着替えさせなきゃいけないくて、

要はパパではやれないと。一応ごみ出しとかあるじゃない。だから、これだけで大変みたいだから。<9>

まず起きて…30分後にはもう行かないといけないんで。自分の身支度もありますし…子どもは最近自分で食べるから、だいぶ楽になりましたけど。まあ、さりとて保育園に行くときって、毎朝、体温何度ですよとか昨日の様子とか、書かないといけなくて、それ5分ぐらいかかるんですよ。…保育園との連絡帳を書くようになったのは、突然、帰りのお迎え当番の際、「いや、もう今日仕事でどうしても行けないから、頼む」と言ったときに、「じゃあ、代わりに何かやってね」ということを言われてからですね。…何かね、もうちょっと貢献しないといけないかなという意識はうっすらとはありますので。<16>

このように、共働き夫婦の朝は忙しい。しかし、子どもの生活リズムを維持し、決まった時間に、しかも、早めに寝かさなくてはならないので、夜の忙しさはそれ以上である。帰宅してから子どもを就寝させるまでの時間は平均3時間である。その間に、子どもの相手をし、食事を用意し、入浴させ、寝かしつけなくてはいけない。また、子どもが寝た後も、家事をしなくてはならないので忙しさは続く。

(夜は) 子どもが6時半まで(保育園)。で、7時に帰宅。7時半、食事。8時、食器洗い。10時…ここまでには大体寝かせるようにして。大体、わたしと子どもは7時ぐらいに家に帰ってきて、それから食事をして入浴をして、10時までに寝るという感じですよ…本当は9時までには寝かせたいんですけど、さすがにそれはちょっとできなくて。7時からご飯作りを始めるから、どうしても7時半に食事…。もうね、生協の温めるだけとか焼くだけとか、そういうやつにしちゃってる。<1>

会社に着くのが、7時50分ぐらいで。一応16時半ぐらいまで働いて、それで…17時20分保育園で(上の子を引きとって)、車で(母親から)下の子を受け取って…大体うちの親とちょっと話。(帰宅は)一番うまくいって18時…40分ぐらいかな…。19時から夕食で…45分ぐらいからお風呂かな。20時半から寝付かしで。上の子は…21時には寝る。下の子は…最近は10時近くまでいっちゃうこともある。それで、(子どもたちが)寝たら(自分は)起きてきて、弁当作りと夕食と…。<9>

(保育所への迎えは)直行でいいんだったら、…(会社を出るのが)6時半でもいいんですよ…ただし、やっぱりその後の支度とか、ある程度準備したいんで、そうですね、やっぱり6時、なるべく6時過ぎには、会社出るようにはしてますね。(お夕飯の材料を先に)…買って帰ったりとか…一通り、例えば、洗濯物取り込んで、放り込んだりやるんですけど、やっといたりとか、ちょっと部屋暖めといたりとか、そういうちょよこちょとしたもの(を子どもを迎えに行く前にしておきたい)。帰りは、1回、(家に戻って)自分の荷物を置いて、身軽にして、(家のことを少ししてから迎えに)行く。<11>



(家に妻しかいないと) 下の子どもに振り回されて、料理ができないんです…ベタッとくっいたら、もう離れないんです。…(妻の復職後、最初は) 私も、まあ、夜遅く帰ってきたんですよ…9時 (に帰宅してみたら) 料理もできてない。材料もまだ野積みそのまま、(妻は子どもの) 対応で、もうパニックになってる。これからですね、あ、これ、いかんって思ったのは。子どもに9時におなか空いて待ってる。…(最初は) 私は、ちょっとスーパーでおむすびとか、レンジですぐにできるものを…置いておいたんですよ。でも、それすら食べられないというんですよ。…。だから、私も思うんです。しょうがないから、じゃあ、おれが作るか。いいから、もういいから、妻が作るより早いから。

…(最初は) やってしてくれるだろうと思ったんですよ…まあ、「余力がある」と言ってきましたから。ですけど、余力なかったんですよ、やっぱり見てたら。…駄目でした。…「私できないから、どうしても、私できない。もうこれ、限界なの」って言われた瞬間に、あら？っと思いましたね。ああ、追い込んじゃったなって…。それで、まあ、いいや、じゃあ、ちょっとでも帰れるなら帰る。<12>

(保育園の迎えの時間は) ギリギリが7時なので、その前に買い物とか済ませちゃったり、あと、残業もできるだけやろうって、やって。保育園は早く迎えに来てもらいたいみたいなんですけど、そこら辺はギリギリまで使っちゃってます。<14>

不器用なんで、育児時間がなかった…最初の1年は死にそうでしたね。夕飯作る時なんていうのは、迎えに行って、行って帰ってきて。風呂だけですもん、コミュニケーション取る時間って。帰ってきてご飯作るなんていうレベルじゃないですよ。…生協で温めるだけとか、焼くだけとか、そういうので極力省く。あとはもう総菜屋で直で買ってくる程度ですよ。 (復職して2年目からは) 育児時間 (が取れることになった) ので、先に買い物して、あとチンするだけにして、車で迎えに行つてというのをよくやっていましたけど。でも、もうサッサと食べさせて、まあ、2歳過ぎてからは、自分でも食べさせなきゃいけないから。でも、何が何でも9時には寝かせるぞというのがあるので、時間に追われていた。<19>

(一人目の子どものときは) 妻も仕事の帰りに迎えに行つて、うちに帰つて食事の支度をして、お風呂入つてとかがつていうのは…何も問題はなかったですね。…ただ (ふたごが生まれて子どもが3人になって)…妻が職場に復帰すると、3人を迎えに行つて、それで、3人とも全部やってつていうことになっちゃうと。だから、今、一番ちょっと懸念があるのは、そこですね。妻が職場復帰した後の夜 (の家事・育児) っていうのが、妻がどこまでできるのかなと。そうすると、やっぱりわたしが早く帰つてくる日っていうのを作らないと厳しいかなというところですね。<20>

これらの例のように、それぞれの夫婦は互いの仕事状況を勘案しつつ、アンバランスにならないように家事・育児の分担の再調整を徐々におこない、現在の家事分担を形成している。

このように試行錯誤的に家事・育児の分担の再調整がおこなわれる背景として、職場の状況だけでなく、子どもをめぐる状況の不確実性があげられる。子どもの健康状態や性格などはそれぞれ異なるため、どのような生活パターンにするのが最適であるかは、やってみなければ分からない部分が残る。このため、事前に計画を立ててそのとおりに進める、という具合には進まないのである。しかも、子どもはすべてに優先される。

つぎのケースでは、子どもの体調を優先して、生活パターンの再編がおこなわれている。

正月明けてから、今年に入ってから、夕方1回帰ってきて、夕食を一緒に食べて、お風呂入れたりして、寝かしてから、もう1回仕事に行くとかいうのがパターンになりましたね。それまでは、いや、7～8月ぐらいから、どっちでもいいなとは思っていたんですけど、それまでは、だから、2～3日、週に帰ってこない日があったんですね。…時間が変わったのは、変えてみたら、正月に1回変えてみたんですけど、それまでも睡眠時間がちょっと短いというのと、遅すぎて、本当は勤められる時間帯じゃないというを聞いていたので、変えたいなと思ってたんですね。で、正月に変えてみたら、えらく本人（子ども）の体調がいいので、11時に寝て、それまでは、だから、8時過ぎに起きていたのかな？ で、そうすると、9時間ぐらい寝ていたことになるんですが、9時に寝て、今7時ごろ起きて、結局10時間寝てるみたいなんです。どうもその差の1時間みたいなんですけど、えらく調子がいいんですよ…そうすると、まあ、仕事も逆にやりやすいかなと。<4>

#### 家事・育児への対処

復職にともなう家事・育児分担の再調整にあたっては、夫婦それぞれの仕事状況が重要な要素になる。仕事状況は夫婦で同等なわけではなく、夫のほうが負担の重いケースが多い。そもそも、妻は育児時間を取得していたり、夫のキャリアを優先して考えており、なにかあったら自分が調整すると考えていたりするためである。このため、家事・育児の分担は妻のほうが多くなる傾向にある。

（平日は）何にもできません。…いいのかなあって感じですけどね…寝に帰ってきているだけです。出ていくときも帰ってきたときも（子どもは）寝ているわけですからね。<6>

8割方、こっちがカバーしてくしかないんだらうな。（パートナーは）参加できるなら、参加してよっていう…（パートナーの）仕事の性格上、動きが取れる反面、客商売なんでも…キャンセルができないものは、キャンセルできないから。できるところ、お互いできるところでやるしかない。で、何かあって融通利く、無理利くのはこっちだよって。<11>

たとえば、残業を必要とされる仕事状況では、保育所に子どもを迎えに行くことができない。そこで、子どもの保育所への送迎について、残業を必要とするほうが送る方を担当し、もう一方が迎える方を担当する、といった分担がおこなわれる。この場合、迎えに行くこと、

必然的に、夕食作りや子どもの面倒などの家事を担当することになり、育児・家事の負担は大きくなる。

(今は、夫に無理して早く帰ってきてもらっているが) この1年だと思っていますから。…わたしの決め文句は、それなんですよ。…「この人たちが保育園に行くようになったら、わたしはもう連れて帰ってきて、ご飯食べさせて、時間に追われて、風呂に入れて、どんなに遅くても9時には寝かせるという、またそのスケジュール。わたしが全部やるスケジュールが始まるんだから」って。<19>

家事分担に関する夫の発言のなかに、知識・技能や嗜好に言及するものが見られることも特徴的である。

僕、洗濯は苦手ですね。苦手というのは、間違っことをしちゃいそうで怖いんですけど、例えば、洗っちゃいけない物を洗ったとか、乾燥機に入れてはいけない物を乾燥機にかけてとかいうのは、僕はやりそうで非常に怖いので、洗濯機に入っている物を、ただ回すのはできるし、それを干すのはできるんですけど、何を入れていいのかとか、例えば、どれは1回目にやらなきゃいけないと、どれは2回目に入れなきゃいけないとか、洗剤に何を使わなきゃいけないのかとかいう辺り、あまり分かってないですね。だから、そういう意味で、洗濯機が苦手なので、あまり近寄らないですね。<4>

掃除はぼくは嫌いなのでしないです <18>

ただし、夫婦で同じ程度の家事分担をしている場合には、夫の側に次のような発言もみられる。

(家事は) 出来ないことは出来ないんですよ。要するに、彼女の苦手な物もあるし、私も苦手な物はあるから、じゃあ、お互いに苦手な物はいいから、得意なほうをやれと。はっきり言いますと、彼女に掃除を頼んだら、私としては非常に不満です…やり直します…。それぐらいだったら、私がやると。(互いに得意な家事を) やったほうが早いんですよ。そのほうが自由時間取れますよね。だって、さらに、今は子ども出来たらそうですけども、子どもが出来る前から、やっぱり家掃除していて1日というのはおかしいと思う。<12>

### 家事・育児の外部化

復職後に育児の負担を考慮して仕事時間を十分に自由に調整できているケースは少ない。自分が出勤している間以外にも保育を外部化しているケースは、次の子どもを妊娠していたり、乳児の育児にあたりたりするケースを除くとほとんどみられなかった。しかし、すべての夫婦において、家事の量を減らす試みはおこなわれている。具体的な試みとしては、家電製品の導入、市場サービスの導入などがある。家電製品の導入には、たとえば食洗機、乾燥機付洗濯機の導入があるし、市場サービスの導入には、日用品の宅配サービス

の利用による家事負担の軽減のほか、ハウスクリーニングの日常的な利用といった家事そのものの外部化などがある。また、家では食事をとらないなど、家事の発生自体を抑制したり、繰り延べ可能な家事、たとえば掃除や洗濯を週末にまとめてこなすといった方法がとられたりすることもある。また、「4.14. 復帰後に利用している育児資源」でみたように、親族に頼ることもある。

### (1) 電化製品の導入

乾燥機付き洗濯機です。ええ、買って。それは導入しましたね、即座に。ものすごい汚れ物の量なので、子どもがいると…「もう絶対買おう」と言って…。例えば、徹夜で原稿書いて、朝ちょっと遅く出ていってもいいなっていうときには、洗濯してから出社したりとかすることもあります。<7>

機械化ですね。「(パートナーから、家事を) やらないなら、機械を買え」っていうのがあって、まあ、その食器洗い器とか、乾燥機付き洗濯機とかですね。何かそういう電化製品。まあね、お金で解決できるなら時間をお金で買いたいということ。<16>

浴室乾燥と、別に乾燥機だけうち置いてあるんですよ。厚手の物は別に入れて、薄手の物は直で全部やっちゃうとか。夜中中、寝ている時間をフル活用。(掃除は) 平日はしません。<19>

### (2) 日用品宅配サービスの利用

7時からご飯作りを始めるから、どうしても7時半に食事…もうね、生協の温めるだけとか焼くだけとか、そういうやつにしちゃってるから。<1>

### (3) 専門業者による家事サービス

ハウスクリーニング…月1でここの床磨きとか…ここの部屋の掃除と、あと台所を…あと、お風呂と。…うちの姉が入れているから。…やっぱり自分じゃやれない部分ってあるから。それこそ排水口の中までぴかぴかだから。…(1回)2時間ぐらい…3人でやる。(それで1回)1万7,000円。…まあ、とんとんじゃないと思うけどね。結構嫌だけどね、鍵預けているしね。いない間にやってもらっているから。…まあ、でも今までトラブルあったら経営できないだろうしね。…すごい楽しんでるみたいに見えるからね、何となく男の人には言わない。<5>

しかし、専門業者による家事サービスの導入については、夫婦間で賛否が異なる面もある。

お掃除は基本的に2週間に1遍、水回りとか全部お願いしちゃってるんですね。(一人目の子どもの育児休業から)復帰して間もなくですから、5年ぐらい頼んでいるという

ことになります。ちょっとお高いんですけど、その代わりぴかぴかにしてくれるので。ただ2週間に1遍だと…当然それだけでは駄目なので、もうちょっとあったらいいなと思いますけど。安くあったらいいなと思いますけどね。<17>

(家の掃除を業者に頼むのは) 最初はわたしも反対したんですけど。掃除する時間があったら子どもと一緒にいたいと言うんですけど、だったらもう仕事辞めればいいじゃんと思ったんだけど。でも、今 IT のビジネスっていうとアウトソーシングってすごく多いんですよ。そのお客さんのコンピューターを預かってやる、お守りをしますよと。と考えると、掃除もアウトソーシングしていいのかなと思ったんで。「その代わりおれは払わないからね。もともと掃除はあなたがやるっていう約束でやって、それをあなたが外に任せてるんだから、それはちゃんと自分で払ってね、いい？」と言ったら、いいよと言うから、じゃあどうぞって。あとは自分の家の鍵をそこに渡さなきゃいけないじゃないですか。何らかの付き合いがあって知っているとか絶対に信用できるという保証があればいいんですけど。だから最初に付けた条件は、今もそうですけど週に1回一応お母さんが木曜日に来てくれてたんで、「木曜日の昼から来てもらうようにしなさい」と。ちゃんと信頼関係ができてきたら、それは別にいないときに来てもらうことのケースがあってもいい。でも、原則誰かいる状態にしてくれと。それがルール。<18>

#### (4) 家事の省力化

家事が発生しないようにすることで、家事の省力化をはかるという工夫もみられる。

食洗機はないんです。でも、買おうとかって話あったんですけど、基本的に家で食事しないんですよ。…だから、洗い物もそんなにたまらないんですよ。<8>

#### (5) 家事の合理化への認識

家事の合理化は、子どものいる共働き家庭においては大変重要である。しかし、家事の合理化が家事水準の低下と感じられる場合、夫婦のどちらかには全面的に好意的に受け入れられないこともある。夫婦⑥を例にみてみよう。

今、カレー作ろうと思ったら、もう冷凍品パパパパッと入れて、はい、出来上がるまで6分。…ミックスベジタブルで、ちょっとしたひき肉ありますよね、ひき肉をザーッと入れて、ポットのお湯を入れて、沸騰してる中にカレー粉を入れて、6分。…ほんとは、30分あれば、ゆっくりと中華鍋で中華丼とか作ってあげられるんですよ。でも…30分あったら、ご飯にありつきたい。…だから、最近はあれですね。もう機械に任せる食事。<12>

時々あんまり、向こうなんか台所立つの、「駄目だ、代われ」と言いたいときがあるんですけどね。…立ってもらって言うのもなんだけどね、夕飯のメニューとか見ちゃうとね、もうちょっと何とかなんないって。やりさしの自分の段取りがあると余計悔しいというかなんと言うか。<11>

<11>は夫の家事能力を高く評価しているが、それでもときにはこのような不満を持ってしまうのである。

また、子どもが寝ているときなどに家事をしているため、子どもからみると親が食事を手作りしていないようにみえているような発言をされてしまい、親ががっかりしている場合もある。

(平日の夕食の準備は) 野菜はもう (土日に) 切ってあって、ウインナーを焼くだけとか、魚を煮るときはもう煮てあるから鍋ごと温めるだけとか、シチューのときは鍋ごと温めるだけ。だから、(前の夜に子どもが寝た後) …ほとんど食事作ってるような感じなの。自分的には作ってるんだけど…これもちよっとショックだったんだけど、下の子が (夕食の催促をするのに) 「チンして」とか言うんだよ。まずいなあと思ったりしてね。<9>

### 働き方の工夫

育児休業から復職して共働きを続けるには、居住地の工夫や家事・育児など、家庭領域における工夫だけでなく、仕事領域における工夫も不可欠である。仕事領域での工夫は、仕事の進め方に表れている。

(仕事は) 大抵のことは大体予測はつきます。突然やっぱり休むことがあるかもしれないと思って、早めに準備したりとか、いつ休んでもいいようにとはなるべく準備をします。<1>

(子どもがいて共働きをするのは) シビアですよ。…だから、とにかくできるときに全部済ませておこうとか…できることは、取りあえず先にどんどんやっつけていこうって感じにはしてたんですけどね。かといって…(仕事柄) 事務的なものをね、先にこなしていくようになっていく感じじゃなかったの…限界はあるんですけど。<8>

<1>は経理担当の事務職、<8>はマスコミの専門職と、どちらも専門性のある職種についているという点で、共通点がある。また、上記の<1>と<8>の発言は、できる仕事は先にしていくという工夫をしているという点で共通性がある。しかし、通常は定時で仕事を終わることができ、「(仕事は) 大体予測はつきます」という<1>のケースと、「原稿書くのは、夜中でもできるじゃないですか。資料を読むのも夜中でもできるし」<8>のケースでは、このような工夫の余地には差がある。

さらに、例をあげてみよう。

(早く出社する分、早く帰社することで) 迷惑は掛かっていると思うよ。作業外注とかも…でも、向こうも悪いんだけどね…帳票をぎりぎりに出してくるわけよ。それで「今日渡したから、今日発注してくれ」みたいな人がいるのよ。…大体必ず4時半ぐらいに来るの…「わたしは45分には帰るんだよ」という感じで。それでも15分で発注して。…さらにミスが見つかったりすると…居れば直すんだけど…絶対17時15分には乗ることにしてるから。だから17時10分ぐらいまで。…しよっちゅう走ってるから、情けなく

なることあるね。<9>

<9>も、専門性が高く、時間拘束性の高い職種についているが、仕事と家庭の両立のために、朝早くから働き、その分、早めに帰るという工夫をしている。子どもの迎えがあるため、残業はほとんどできない。定時退社の時間は16時45分であるが、残業は、最大でも17時10分まで、つまり、一日25分しかできない。<9>と同じ職種で、このように、ほとんど残業をしない働き方をしている人はいない。このため、<9>は、専門性が高く、時間拘束性の高い職種についていながら、ほとんど残業をしない働き方をしていることについて、ストレスを感じている。<9>は育児を大切に考えており、今の働き方は、仕事と家庭を両立させるために選んだものである。しかし、一方で、<9>には、仕事で評価されたいという気持ちがあるのに、そのような働き方では、会社からの評価が低くなってしまう。資格試験を受験し、同じ試験を受験した職場の人たちの中でただ一人、試験に合格するなど、能力の高さを客観的に示す努力をしても、昇格は遅れたままである。

「わたしは（育児のために労働時間が短いことが、人事評価上、不利に扱われること）を承知で、子どもが2人いるので、それを分かってやってる。それで担当（役職でない職位）なんだから、この範囲しかやれません」と、今、そういう気持ちにだんだんなってきたのね。<9>

一方、FWA という、会社独自の勤務時間短縮制度を取得しながら管理職として働く<17>は、仕事に多くの時間を割くことができる職場の部下との無用な軋轢を軽減するために、FWA上の規定以上の時間を職場で働いた上、責任者がいなければならない時間帯には、自宅で仕事ができる状態を常に確保するため、金銭的な負担は多くなるが、常に時間に余裕を見込んでベビーシッターを利用している。

（ベビーシッターは）今、毎日来てもらっています...月水金は、ほんとは早帰りの日なのに、やっぱりどうしても何かがあると戻れなかったりするので、必ず4時～7時で。...わたしがもし戻ってきちゃったとしても、4時以降何かほんとにトラブルがあったときには電話してというふうにしたかったですよ、家に。...何事もなければ、すごく良かったですね。ご飯作っている間、遊んでいてもらえるので。そうじゃないと、もう下の子がだっこだっこになっちゃうので...それは大変助かっています。<17>

職種によって求められる働き方には違いがある。効率よく仕事をすれば、定時に帰ることのできる職種もあれば、現状では、どうしても長時間の残業をしなければ一人前の仕事にならない職種もある。とくに後者の職種についている人たちについては、上に指摘した<9>のケースにしても、<17>のケースにしても、仕事と育児を両立するために、個人的な努力や犠牲を多く要求されているのが現状である。このような職種で働く人たちに対する効果的な両立支援制度はどのようなものであるのか、そのニーズを汲み取り、有効な制度を作ること急務であろう。

#### 4.16.子どもが病気になったときの保育

子どもの健康状態はさまざまである。特に保育所に慣れるまでは、頻繁に熱を出して保育所を休まざるをえなくなったり、登園後に引き取らざるを得なくなったりする子どもがいる一方で、そうしたことのほとんどないケースもある。

子どもよく寝込むじゃないですか。(慣らし保育で) 1カ月は置いてるから大丈夫だろうと思っても、やっぱりひっくり返るときは、ひっくり返るんですよね…扁桃腺の熱って、ものすごい上がるんですよね。すぐ38度、39度いっちゃうんで。そしたら、もうグッタリきてるんで、すぐ呼び出してって、格好になりますね…こっち(長子)のときは、ちょっと冬に入れちゃったんで、結構(呼び出しが)あったんですけど…(二人目は)夏だったんで、そんなでも。でも、(復職後)最初の1カ月結構ありましたね…半月ぐらいズルズルいってて、で、最後1週間ぐらい熱出してギブアップしたっていうか、そんな感じですね <11>

(保育所から呼び出しがあったのは、職場復帰した) 初日だけだったので、一応あとはスムーズで。…お迎えは、今までにその1回を含めても2回ぐらい…ちなみに、この8月以降、一度も休んでません。 <3>

保育所からの呼び出しなどの対応に、夫婦はまずは2人だけでなんとか対応しようと努力する。

仕事でどうしてもその日に何かやらなくちゃいけないことがあるときは、夫の都合を聞き、夫が休めないときは実家の母に頼みます。でも、そこまでしなくちゃいけなかったことって1回ぐらいしかなかったかな。どっちかが調節つけて休んで。(呼び出しがきても) どうしても駄目なときっていうのはやっぱりあるんですよ。だから、そのときに夫が…どうしても外せないことがなければ、代わってもらったりとかはしてます。…(パートナーは子どもの病気で) わたしが何日も続けて休んじやいそうになると、自分が休んでくれたりとかしますね…お互いにやっぱりどうしても休めない日っていうのはあって、それをお互いに調節しながらやってるって感じですね。 <1>

2人の仕事がちょうど同じときに忙しくはならないので、(保育所からの呼び出しで) 「行ける？」って言われれば。(この前の) 木、金曜日とかもピンチっぽかったんで、「行くならぼくが行くから」って…それはお互いそういう感じで。突発的になっちゃうと、ぼくの方はあんまり融通が利かないんで彼女が行きますけど。まあ、行かれるんならぼくが行っちゃう。ただ、分かんないですからね、こればかりは。 <2>

(子どもが1週間休んだときは) わたしがもう休んじやった。3日ぐらい休み取ったのかな。それで1日(義母に) 来てもらったりして…ちょうど国際会議があって…外国のお客様も30人とか40人とか呼んでやる会議があって、それが済んだ直後だったの。みんな「お疲れさま」っていう雰囲気仕事も片付いていたし、何となく休みやすい雰囲気



気だったの。…タイミングがうまくいっちゃっているかなって。絶対休めないときに病気になるから。<5>

しかし、共働き夫婦が、夫婦だけで、子どもの病気などの突然の急用につねに対応することは困難なことである。どの夫婦も相当の努力を払っているが、それでも夫婦のどちらも仕事を休むことがむずかしい場合もある。その際には、親（子どもからみた祖父母）という資源に頼ることが多い。連絡してから3時間程度で来てもらえるくらいの距離にいる祖父母であれば、いざというときには頼ることになる。具体的には、親がとりあえず保育園から子どもを引き取ったあとで、祖父母がその後の看護を引き受けたり、最初から保育所に登園させずに祖父母に保育を依頼したりする。

（前の日から子どもの調子は）分かるから、義母とかに「すみません、明日どうでしょう」とか言って。それで義母が午前中に（自分の）仕事を済ませて1時にはここに来てくれるから、わたしが1時半出社。<5>

子どもも保育園に出て、最初は熱を出したりすることが非常に多くてですね。で、だからといっても、彼（に迎えに行ってもらおう）というわけにいかないの、彼のお母さんに来ていただいて、私がお迎えに行くと、彼のお母さんが到着したら、引き渡して、また、私が仕事に戻るとか。…もう綱渡り状態が続いてましたね。彼も2回ぐらいは、何か非常に努力して、上に言ってくれて、お母さんに引き渡す役を彼が果たしてくれたこともありましたね。

…（保育所から連絡が来るのが）基本的には私なんですけど、私が電話が通じないことが多くて、そうすると、彼のほうに連絡が行きましたね。…彼から「こういう連絡があったけど」なんて連絡があって、まあ、「じゃあ、しょうがないから、ちょっと」って。で、「じゃあ、お母さんに連絡してもらえる？」なんて言って。…（夫の母に）ほぼ来ていただきましたね。すっごく助かりました。…最初は、ほんと2週間に1回、10日に1回ぐらいの割合で、そういう連絡があって…非常に厳しかったですね。…3カ月目ぐらいに入ってくると、随分強くなって、月に1回なり、その後はもうずっと、例えば、3カ月に1回、半年に1回とか、数カ月なかったりとかいうのがあったので、随分強くなったなと思います。なので、随分楽になりました。…最初は…何か電話が保育所から鳴るとすごく怖くて、「ああ、何？何だ？何の熱か？」とか思って。…熱が下がったと思って、無理に（保育所に）やったら、また熱出して、また呼び出されるとかいうほうがハードなので、まあ、翌日はなるべく向こうの両親、お母さんなりにいていただいて、1日は休ませるみたいな感じにして。そうすると、まあ、何とか持つので、そうやって、なるべく無理に保育所に送り込まないようにしながら、何とかやりましたよね。<7>

（子どもが）風邪ひいたときは、ちょっと休ませてもらってとか。でもずっと休むわけにはいかないんで、僕の親に電話して、「ちょっと来てくんないか」と。そうすると、まあ、大体電話して3時間ぐらいしたら来てくれるんで、それまでの間をちょっと、何と

言いますか、カバーする…彼女は、ずっと同じで、元の部署にまだいるんですけど、まあ、もちろん交代交代でやってたんですけどね。彼女のほうが都合いいときは彼女がやって、で、僕ができるときは僕がやって。…(翌日まで治りそうにないときには) もうそしたら親に泊まってもらって、その次の日はもう1日お願いする形でしたね。…(保育所からの呼び出しのときの調整は) 結構大変で。やっぱり僕的な意識では、半分半分ぐらいだったような記憶なんですけどね。…半分半分でお互い様でやんなきゃいけないなと思ってたんで、一方的に僕がやるのもやっぱり不満が出ちゃうだろうし、かといって、一方的に彼女と言っても、まだね、彼女も不満を持ちますからね。ええ。僕的には、半分半分的な意識があるんですけどね。<8>

もう本当に駄目だっていうとき、実家にもう連れてっちゃったんですよ。途中で呼ばれちゃうと、こっちが困っちゃうんで、もう実家に最初から。…もし連れてっても途中で呼ばれちゃうかなってときは、もう実家に預けちゃって、ちゃんと完全に治るまで預かってもらったりします。<14>

このように、子どもの病気の際には、夫婦はできるだけお互いに仕事を調整することによって対応しようとする。しかし、突発的でどうしてもどちらも都合がつかない場合や、子どもの病気が長期化したときには、夫婦どちらかの親（子どもからみた祖父母）に頼ることも多い。本調査の対象者の多くは、いざというときに親資源を利用することができていた。しかし、そうした資源が使えない場合、育児と仕事の両立はより切迫した問題であろう。

(両立は普段で精一杯) という状況だから、病児保育はもっと使いやすい形で…。核家族多いじゃないですか、都市部って。…(子どもが) 病気になったときって考えるとね。…入院まで行っちゃって、保育園、退園しちゃった子が、下の子どものクラスに出たんですね。…2カ月以上休園続くと、退園ってルールになってるんですよ。<11>

まだうちは恵まれていると思ってるんですよ。これでも。親がそばにいますので。(同僚で同じ時期に子どもが生まれた人は) 実家が遠い。そうすると、「仕事復帰したとき、どうしようか」って、もう今から悩んでいますし。<19>

育児と親のケアというふたつの側から、遠方に住んでいる親を呼び寄せて、同居することを考えているケースもみられた。

(今後については) 母と同居したいと思っているので。夫は賛成しているので、もうしたいなと思っているんですけどね。<15>

#### 4.17. 職業キャリアにおける育児休業の意味づけ

育児休業を取得した人の中に、復帰後に work-family interface に対する考え方に変化があったという人が複数みられた。とくに、同僚や他社との競争の激しい仕事についている人

が、このような変化を指摘している。このような人たちは、育児休業を取得する際に、キャリア形成上は不利になるかもしれないことを覚悟したり懸念したりしているが、育児休業を取得したことによって、逆に、家庭生活を重視した働き方をしたいと考えるようになっていく。仕事生活と家庭生活は相互に影響し合うものであるが、夫婦二人の生活の間は、互いに仕事を優先していた場合が多い。その状態から、子どもが生まれて育児休業を取得し、家庭に集中的にかかわる期間を持つことで、仕事生活と家庭生活のよりよいバランスを希求する気持ちが強くなるのである。その意味では、男女を問わず、働く人々が、何かの機会に、一定期間、家庭に集中的にかかわる期間を持つことは、個人が働き方をみつめなおす機会としても有意義である。

育児休業を経て復職すると、(深夜まで働くのは) ばからしくてやっていられなくなるんですよ。ばかばかしいなと思って、もうそれで何を得るわけでもなく...部の仕事って本当そういう仕事なんですけど、やっぱり何かあったときのためにそういうことをやるわけですよ....でも、何かそれをやらないと仕事が出来ないかっていうと、決してそんなことはないだろうと思っていて。(今はパートナーが育児休業中なので) やろうと思えば(深夜まで働くことも) もちろん出来るし、でも全くする気がないんですよ。だから、なるべく帰れるときには早く帰るようにしています。<7>

(育児休業をとって考えが変わったこと) は結構ありますね。...やっぱり育休取ってよかったと思っているんですけども、まあ何ていうんですかね、子どもとの、まあ育児は大変ですけど、まあ楽しいということがまず分りましたし。...子どもはかわいいですからね。...子どもの成長を見届けることが出来たというのは...よかったですし、で、今まで仕事だけしか考えていなかったんですけども...もっと家庭を大切にしながら働きたいなという気持ちは結構出てきましたから、なるべく早くに帰ってきて、子どもとまあ妻も含めて、家族の時間を大切にしようというふうな思いがかなり強くなりましたから。そういうのは、認識的に一番変わったんじゃないかと思いますね。今までは仕事が第1でしたからね。子どもとか、そういうのはまあ犠牲になっても仕方ないと思って、自分の中ではそういうふうに、まあ今では勝手だと思んですけど、そんな感覚でしたけど。育休取ってからはちょっと違いますね。もっと大事にしたいなっていうふうに思いましたね。<8>

最後に残るのは仕事ではなくて、家族なんじゃないかっていう思いもあったのね。...仕事だけじゃないっていう思いはあるのよね。...相反する気持ちと両方あるっていうか、そういう感じになるんだけど。...のめり込みつつ仕事が本当に面白いんだけど、一方では「こんなやって何になる」。...毎日帰ってきて子どもの顔とか見るわけじゃない。そうすると、仕事してて何になるっていう気持ちもあるわけよ。<9>

どこでそう振るか分からないですけど、(子育てが) 一段落したら、やっぱり前線もう1回行きたいかなって...そこはありますけど、まあ、今は、これでいいかって。やっぱりね、...仕事もいいけど、どっち取ると言ったら、やっぱり子ども取りたいです

からね。子どもに比重を置きつつ、仕事をできる範囲でやっていくっていう。もうそういう時期あっていいと思いますしね。…どうせいつまでも続くわけなし。<11>

こうした家庭重視の働き方の可能性を検討するだけの自信の根拠になるのは、それまでに蓄積しているスキルやノウハウである。育児休業で一定期間、仕事から離れたとしても、それ以前に蓄積していたスキルやノウハウがあることは、スムーズな復帰のささえになる。

(仕事の質は経験を積むにつれて上がっていくが、それが子どもを持つことで中断されることについて) 残念であると同時に、1人目でやってみたら、逆に自信がついたっていうか。

どんなところからでもやり直せるっていうか。それは、やっぱりその大きい仕事をやったときは…もう妊娠してたから。その評価を受けずに、休みに入ってしまった。…(大きい仕事をやったことが評価されれば違った) と思うの。またもうちょっと上の仕事 came かもしれないしとかね。やっぱり関連部署にも顔が売れたわけであるから、仕事しやすい、すごく。それで、またすぐ行けば「ああ、<9>さんね」みたいな。それがぶちっと切れて、揚げ句の果てには「私、ちょっと休みます」とかってあいさつ回りをして。…でもまた一から…またそこまで上り詰められるという自信があることはある。<9>

(復職して10ヶ月たったが) 今でもちょっと追い付いていない部分もやっぱりありますし、今のところだけ追い付いて、逆に抜けている部分があるんですよ、やっぱり。それを…埋めるっていうのが、埋めようと思ってできるというわけじゃなく、やっていて、「ああ、抜けている」と気付いて、「ああ、そういう情報、わたしはそのどこ抜けているな。じゃあ、ちょっともう1回調べようかな」とか、そういう感じですかね。何が抜けているかも分からないんですよ、実は。なので、何が抜けているかを知ることが先ですかね。(抜けている部分があることについては) 休んでいたから知らないのかなぐらいで…調べればいいし、周りの人に教えてもらえばいいかなという感じですかね。…仕事は1年単位のものが多く、それが1回回ればというのはありますね。わたしは何とかなると思ってやっている…知らないものはしょうがないなというのがありますし…周りの誰かが知っているわけなので、その人に聞こうというか。<15>

(育児休業からの復職は) やっぱりいろいろ動きがあるので、そこを埋め合わせるにはやっぱり3カ月はかかりますね。…毎日毎日動きがあるので、わたしたちの提携しているサービスも微妙にちょっと改良されていたりするので、そういう変化を、当然お客さまから言われて、「ああ、このレポートはこういう形になっています」と言おうと思ったら、隣で「あっ、それ、もう直っています」とかね。…ずうっと昔から問題で解決していないと思ったら、たまたまわたしの産休中に直っていたりとか。…そういうようなのが結構あったりすると、「あっ、それも追いつかなくっちゃ」と。だから、最初は結構不安ですよ。自分がやっていることで、どのぐらい合っている